

森・木・薪を使った地域振興

佐渡の森林資源の 保全と活用のためのアイデア

いであ株式会社 稲田あや

1

他の地域では、森・木・薪を どんなふう to 活用しているのだろう？

『地球のしごと大學』教養学
部の講座を受講し、全国の
いくつかの地域を実際に見
て体験してきました！



2

事例① 薪が観光材料になる

諸塚村（宮崎県）

- 改装した古民家（やましぎの杜）に宿泊し、地元の郷土料理を作って食べる
- 薪でご飯を炊く
- 薪で五右衛門風呂を沸かす
- 薪割体験

薪割体験



原木しいたけ



シカ肉と猪肉



薪釜で飯炊き 3

事例② 木材に付加価値をつけて売る

ぼうむ合同会社（高知県本山町）

- 「6歳になったら机を作ろう！木こり&机作り体験 in 高知」
- 『子どもとお出かけ情報サイト「いこーよ」』と連携し、認知度UP。
- フランチャイズ化せず、他地域、別組織と連携し、裾野を広げている。



自分の学習机は自分で作る！親子でのござり・ドリル・ハンマーなど、本格的な工具を使い、100%国産無垢材で自分の学習机を手作りします！★環境省グッドライフアワード特別賞受賞★ウッドデザイン賞2017受賞★

6歳になったら机を作ろう！イベント情報

- ★栃木県日光市：2018年12月8日(土)栃木県初開催！お申込受付中！>
 - ★千葉県山武市：2018年11月23日(祝)産葉まつりで4台限定！>
 - ★新・高知開催：2018年9月～2019年8月まで、募集開始！>
 - ★滋賀県彦根市：2019年4月27日(土)、7月27日(土)のお申込開始！>
 - ★千葉県山武市(11/24)：ありがとうございました！満席となりました！>
- 【キャンセル待ちのお申込みはこちらから】
お開催で各イベントで満席となり、誠にありがとうございます！また満席でお申込みのご希望に答えられず、大変申し訳ありません。ただいまキャンセル待ちを受け付けております！
【通報】机・椅子・本棚・キャビネット、通報はこちらから >

【日程】

1. 木こり体験（園児）体験

※木こり体験は机作り体験とセットでお申し込みください。
2018年 9月22日 (土) 10:30～15:30 (応募を締切りま
2018年10月20日 (土) 10:30～15:30 (応募を締切りま
2018年11月17日 (土) 10:30～15:30
2019年 2月16日 (土) 10:30～15:30
2019年 3月16日 (土) 10:30～15:30
※木こり体験はすべて満席となりました。

2. 机作り体験

2019年 2月23日 (土) 10:30～15:30
2019年 3月30日 (土) 10:30～15:30
2019年 4月27日 (土) 10:30～15:30
2019年 5月 4日 (土) 10:30～15:30
2019年 6月22日 (土) 10:30～15:30
2019年 7月20日 (土) 10:30～15:30
2019年 7月27日 (土) 10:30～15:30
2019年 8月24日 (土) 10:30～15:30



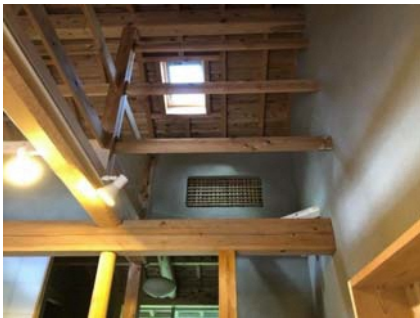
絶対数は多くはないが、都市部の家族に人気は高い（満席、キャンセル待ち・・・）

事例③ 地元産の木材を使って家を建てる

藤野（相模原市）

- 里山長屋（4世帯）
- 多摩地域産の材を使用

コモンハウスの玄関前 4世帯が入る長屋



竹小舞



コモンハウスの玄関前

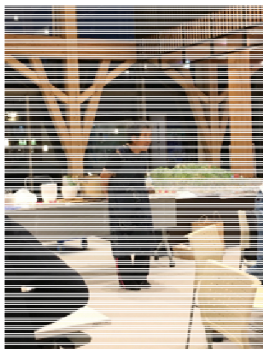
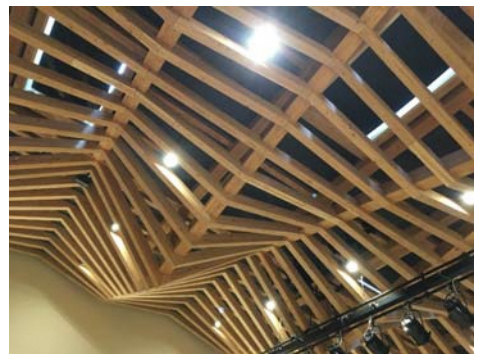


コモンハウスの居間

事例④ 地元産の木材を使って公共施設を建てる

地元産材を使った文化交流センター
（岩手県大槌町 “おしゃっち”）

- 県産木材が50%使われている
- 柱の無い構造
- 県産材を集積材に加工し、強度を確保



事例⑥ 民泊で人を呼ぶ

◆ 農家民宿（鳥取県智頭町）

- 智頭町は自伐型林業が盛んな町。「智頭町木の宿場プロジェクト」を実践。
- 立派な古民家が立ち並び、町をあげて民泊に取り組んでいる。
- 芦津集落では間伐木のチップボイラーを導入した共同浴場「芦津ももんがの湯」を集落で運営。



出典：木の駅プロジェクト
http://www.kinoeki.org/modules/waffle0/index.php?t_m=ddcommon_view&t_dd=waffle0_data1&id=2



出典：智頭町役場 http://cms.sanin.jp/photolib/chizu_sanson/16548.pdf
http://cms.sanin.jp/photolib/chizu_sanson/16549.pdf

◆ 農家民宿（徳島県上勝町）

- 上勝町の農家民宿「花びより」
- 周りは農村風景が広がっているだけだが、実家に帰ったかのような居心地のよい宿。



7

事例⑤ 林業の教育や研修の場として人を呼ぶ

自伐型林業の視察受け入れ（高知県）

- NPO法人自伐型林業推進協会の代表理事 中嶋健造さんの講座 + 現地視察
- 研修等を受け入れ、興味のある人に自伐型林業の実践の現場を見せることが可能
- 研修や視察の受け入れにより、地元の宿泊施設や飲食店も賑わう

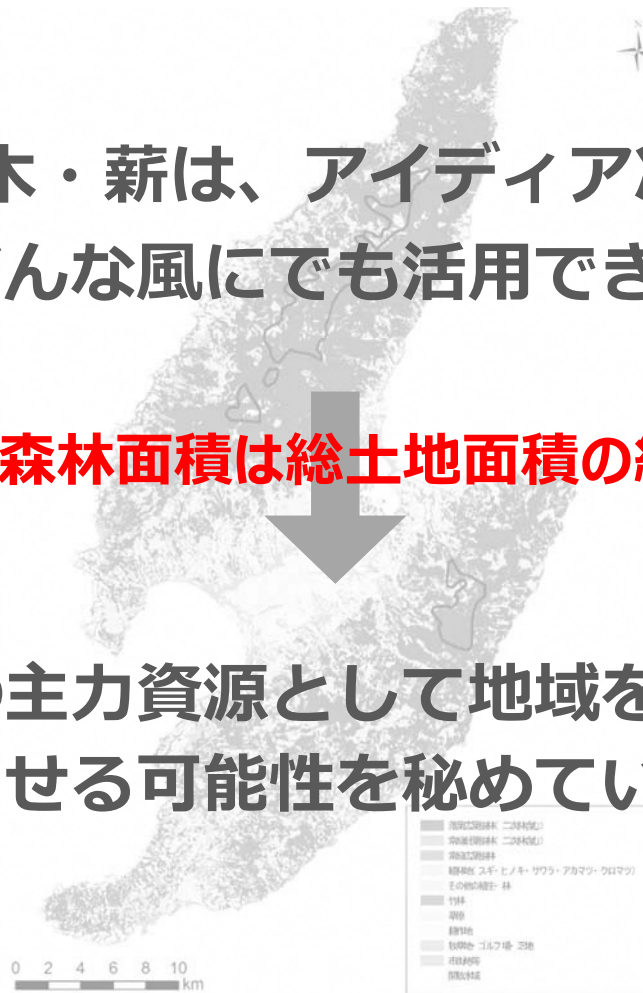


8

森・木・薪は、アイデア次第で どんな風にも活用できる

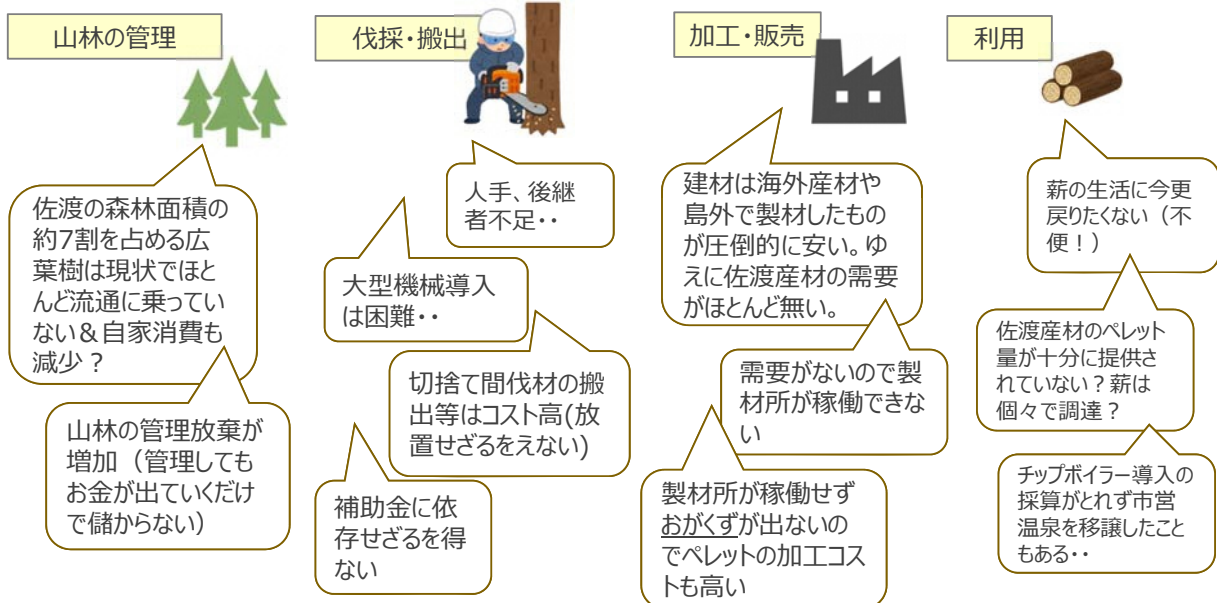
佐渡の森林面積は総土地面積の約7割！

佐渡の主力資源として地域を活性化
させる可能性を秘めている



11

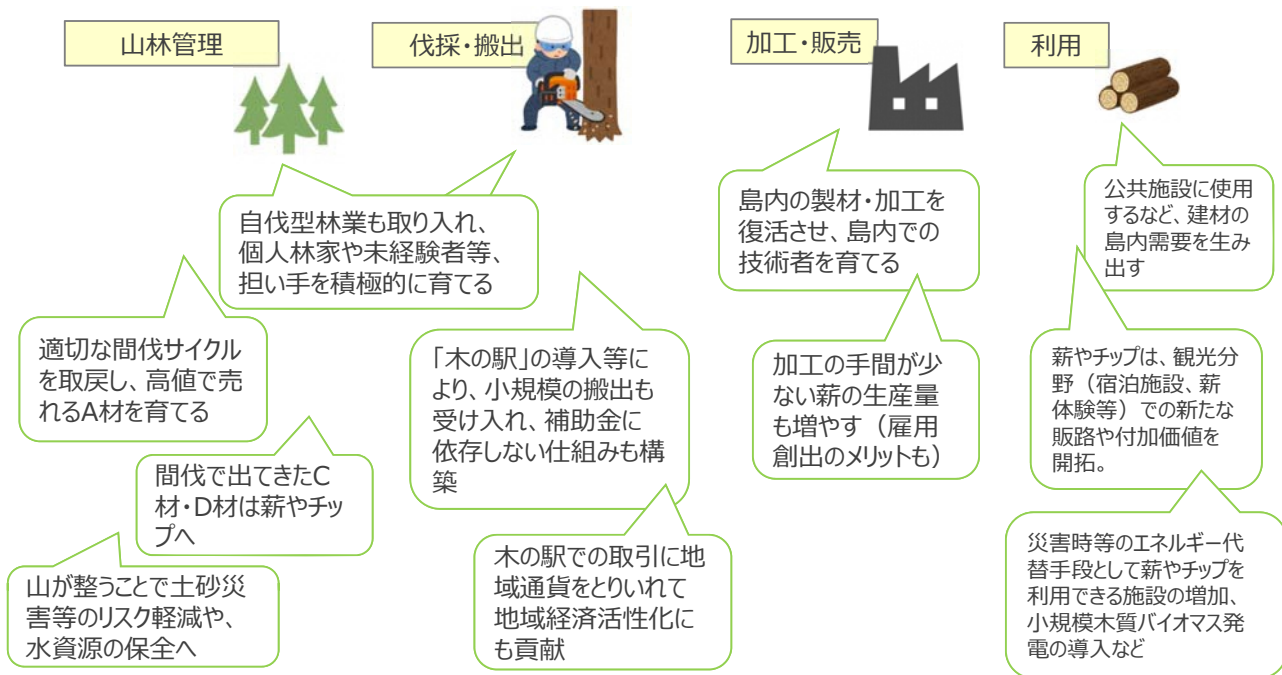
佐渡で森・木・薪を使うには課題も多い・・・



離島であることによるコスト上乗せや生産性向上の難しさ、木質燃料の需要停滞などが、森林資源の活用の道を険しくしているのかもしれない・・・

12

視点をかえれば、山林は地域資源の主力になる



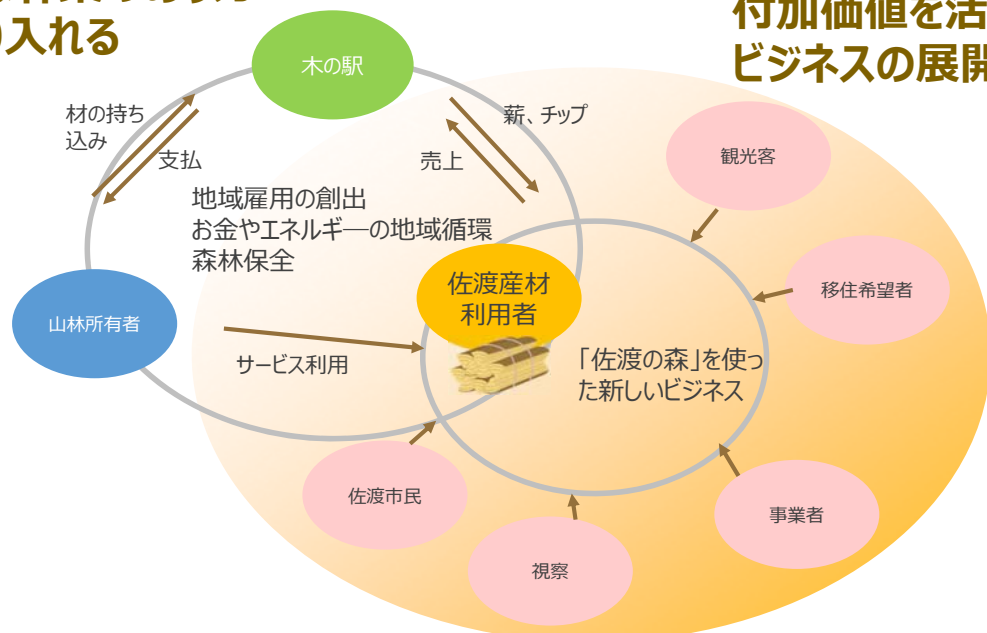
佐渡島内の森林資源をもっと活用し、持続的に発展させられる方策があるはず！

林業活性化 + 木質バイオマス活用が鍵

佐渡の木を佐渡の中で使うサイクルを取り戻そう！

新たな林業のあり方を取り入れる

森林資源の新たな付加価値を活かしたビジネスの展開



新たな林業のあり方を取り入れる

自伐型林業

- 採算性と環境保全を高い次元で両立する持続的森林経営。参入障壁が非常に低く、幅広い就労を実現。



木の駅

- 山林所有者が出荷する間伐材や林地残材などの集積場。
- 未利用木材を地域通貨や商品券で買い取る「木の駅プロジェクト」の中核となる施設。
- 木の駅プロジェクトは平成21年（2009）に岐阜県恵那市で始まり、全国に広がった。

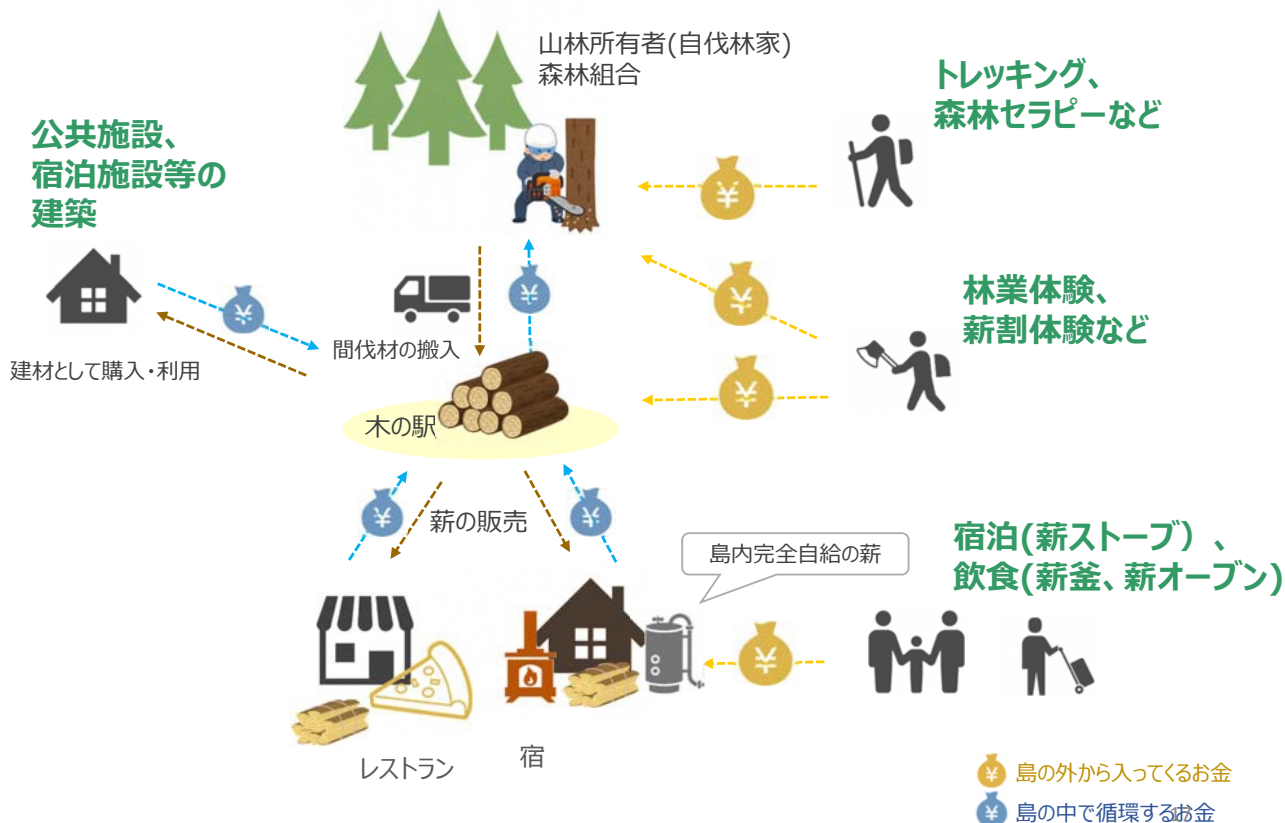
出典：自伐型林業推進協会 <https://jibatsukyo.com/about/> 15

事例：芸北せどやま再生事業



出典： http://npo.shizenkan.info/?page_id=16

森林資源の新たな付加価値を活かしたビジネス



例えばこんな観光メニューはどうでしょう？

◎ 佐渡の薪ぐらし旅

- 薪ストーブ、薪ボイラー体験
- 薪割り体験
- 薪ストーブを使ったクッキング体験
- 対象者：対象者：薪ストーブ生活を具体・詳細にイメージしたい人（田舎暮らしを考えている人、Uターン、Iターン、など）、訪日観光客（薪ストーブになじみの無い国を中心に）

◎ 佐渡の癒しの森

- 佐渡スギの原生林ツアー
- 佐渡の森林セラピー
- 薪ストーブ、良質な食事
- バイオホテル（国内ではまだ3施設しかない）認証もよいかも？
- 対象者：自然志向、ヘルスツーリズム志向、療養したい人など

◎ 佐渡の木づくり旅

- 建材の大部分が佐渡産材の宿
- 薪ストーブ（佐渡産の薪）
- 佐渡産の原木椎茸、薪ボイラーを使ったハウス栽培の野菜などを使った料理
- 佐渡産ヒノキの浴槽&薪で沸かしたお風呂
- 対象者：富裕層、訪日観光客、年配者など

◎ 佐渡の木しごと学び

- 自伐型林業の伐採や加工等の技術を短期滞在で学ぶツアー
- 薪ストーブと薪ボイラー備付
- 薪割りによる宿泊料割引あり
- 対象者：Uターン、Iターン希望者、林業志望者、若者・大学生など

どこから何から始めよう？

■ 学ぶ・集まって話し合う

- 自伐型林業や「木の駅」の仕組みを学ぶ（研修も有効）
- 佐渡の木材の需要をどう生み出すか（建材→公共施設、薪やチップ→観光関係、小規模バイオマス発電・・・など）

■ 実施体制を考える

- 主体となる組織があるか？ / 既存の組織（森林組合等）との協力体制をどう組むか？ / 林業家の協力者はどの程度いるのか？ / など

■ プロジェクトを立ち上げる

- 何をメインコンテンツにするのか？ / 誰をターゲットにするのか？ / どれくらいの資金が必要か？ / 需要に対する供給は確保できるか？ / など

■ 資金を集める

- 資金はどこから調達可能か？ / 使える補助金があるか？ / など

19

小さく始めて、どんどん広げていきましょう

薪利用



薪火の非日常の演出

- 観光系の施設等で利用
- 自伐型林業
- 仕組みの構築

地域内エコシステム

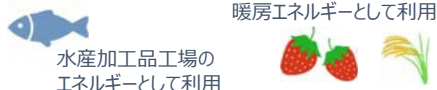


日常生活での利用拡大

- 集落の住宅、店舗、施設での利用
- 自立分散型エネルギー
- 里山的利用による森林機能の向上
- 災害発生時のバックアップ

持続可能な森林資源利用サイクルの確立

良質な材も産出できるようになり
他の産業へ展開



隣接地域・他産業への波及

- 材量の規模拡大
- 雇用創出、移住促進
- 良質な木材生産
- 森林の多面的機能の向上



注：規模拡大は、間伐材や林地残材の搬出コストに見合う素材生産とカップリング

20

おわり

参考：その他の活用事例

事例② 山の「しごと」も観光材料にする

山の「しごと」を都市部の人と一緒に。
(体験プログラム)

(宮崎県 椎葉村・諸塚村)

- 焼畑農業の火入れとそばの種まき
- 集落林道の側溝の掃除



23

事例③ 福祉と薪利用を組み合わせる

社会福祉法人 福祉楽団 (千葉県香取市)

- 福祉施設と「薪炭供給所」を併設。薪割や間伐の一部などの作業は障がいを持つ人達も従事。
- 建物は薪ボイラーで給湯。棟内のあちこちに薪ストーブあり。配管熱は床暖としても利用。
- 建物は大学の研修等での宿泊施設等、多目的に活用可能。
- 本業の介護事業に加え、レストランや スウィートポテト屋などで収益確保。

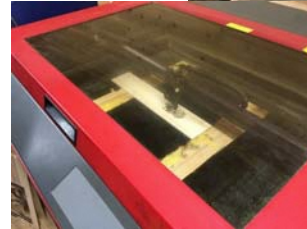


24

事例④ 木材に付加価値をつけて売る

ばうむ合同会社（高知県本山町）

- 製材所・加工所を所有し、建材として出す前に一次加工をすることで買い取り価格をアップ
- レーザー加工により「もくレース」等の製品化



事例⑤ 木材に付加価値をつけて売る

宮崎県諸塚村のFSC認証材

- 木材、椎茸、畜産、茶業、高冷地園芸等の複数の作物を組合せる「農林業複合経営」
- FSC森林認証材、椎茸もFSC認証
- 2015年12月世界農業遺産認定「山間地農林業複合システム～森林が育んだForest Community と持続的な農林業複合システム」
- more-tree、WISE・WISE、SoupStockTokyo など都市部の企業や団体等とコラボ



しいたけの杜21のコミュニティスペース

事例⑥ ただの農村風景も観光材料になる

飛騨里山サイクリング（飛騨古川）

- 株式会社美ら地球が展開するSATOYAMA EXPERIENCEのアクティビティ
- 里山の中を2時間弱、サイクリングするだけ……だが最高に気持ち良い。
- インバウンドの観光客（特に欧米各国）から好評。トリップアドバイザーで5つ星。

